

気象庁が発表する情報について

気象庁は、大雨や暴風などによって発生する災害の防止・軽減のため、気象特別警報・警報・注意報などの防災気象情報を発表しています。

気象警報・注意報の種類

特別警報	大雨（土砂災害、浸水害）、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
警 報	大雨（土砂災害、浸水害）、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
注 意 報	大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪
早期注意情報（警報級の可能性）	大雨、暴風（暴風雪）、大雪、波浪

土砂災害警戒情報について

大雨警報の発表中に、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、北海道と気象台から共同で発表されます。

詳細な範囲については気象庁の「キキクル（危険度分布）」で確認できます。しかし、特に警戒区域周辺にお住まいの方は、実際の周囲の状況や雨の降り方にも注意し、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、危険を感じたら、迷わず自主避難を行いましょう。



記録的短時間大雨情報について

大雨警報の発表中に、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨が観測された時に、気象台から発表される情報です。

この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。実際にどこで災害発生の危険度が高まっているかを気象庁の「キキクル（危険度分布）」も合わせて確認してください。



特別警報をご存知ですか？

特別警報の発表基準

現象の種類	基 準	
大 雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合	
暴 風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高 潮		高潮になると予想される場合
波 浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大 雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

大津波警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基 準
津 波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合（大津波警報を特別警報に位置づける）
地 震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報（震度6弱以上）を特別警報に位置づける）

特別警報が 発表されたら

- ・ 尋常でない大雨や津波等が予想されています。
- ・ 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

詳しくは気象庁ウェブサイトをご覧ください

気象警報・注意報 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/warning.html>

特別警報 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/>

